

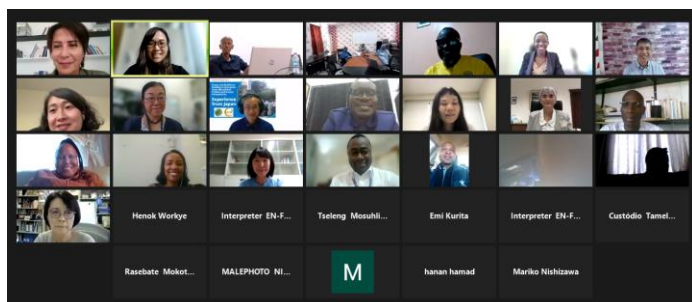
伊藤大使によるUNESCO－IICBAウェビナー初回講義への出席

2022年5月26日（木）、伊藤大使は、ユネスコ・アフリカ地域能力開発国際研究所（UNESCO－IICBA）の主催したウェビナー「日本の経験：教育政策及び研修プログラム推進による平和教育とレジリエンス構築」ウェビナー初回講義に参加しました。

このウェビナーは令和2年度補正予算事業として採択された、UNESCO－IICBAの「TICAD（アフリカ開発会議）7とNAPSA（アフリカの平和と安定に向けた新たなアプローチ）の精神に一致する新型コロナウイルス感染下におけるアフリカでの教育を通じた過激主義の発生及び再発予防支援」の一環として行われたものです。

伊藤大使は、冒頭挨拶において、日本が世界で唯一の被爆国であることに言及した上で、第二次世界大戦後、平和教育が日本だけでなく世界の平和構築や防災に貢献してきたことを説明しつつ、平和構築の取り組みに加え、平和維持活動の多面的な活動によって、日本とアフリカの関係をさらに強化していきたいと述べました。

当日は、アフリカ10か国から平和構築の専門家が参加し、上智大学及び広島県庁から日本の平和構築に向けた取り組みの共有の後、いかに平和構築教育をアフリカで浸透させていくかについて活発な意見交換が行われました。



集合写真



大使挨拶